

平成25年9月16日

# 台風第18号襲来

## そのとき大山崎町は

9月16日(祝・月)に台風第18号が本州に上陸、全国で初めて京都府・滋賀県・福井県に特別警報が発表されるなど、広い範囲に大きな爪痕を残しました。

大山崎町では幸いにして大きな被害は出なかったものの、桂川の水位の上昇により、避難勧告に続いて避難指示を発令し、最大約2000人の方が避難所に避難しました。

避難にあたっては住民の皆さんによる支えあいがありました。一方、町ではこれほど大規模な避難勧告の発令は初めてで、さまざまな課題が浮かび上がりました。今回の台風における町のうごきを振り返ります。

## 防災特集

平成25年12月

### CONTENTS

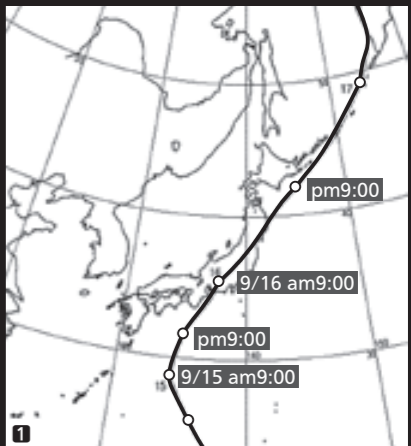
- インタビュー……………4
- 避難の心得……………6
- 避難情報のお知らせ方法……8



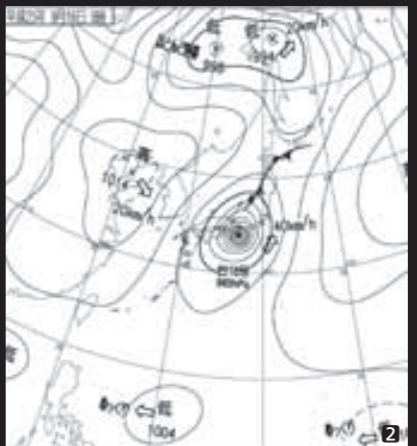
【写真上】三川合流部付近。左から桂川、宇治川、木津川。河川敷は完全に水没している。

【写真下】京都市伏見区羽束師の久我橋下流付近では、桂川右岸が約400mの区間で越水。いずれも9月16日午前。(国土交通省近畿地方整備局提供)





1 進路図 2 地上天気図 (16日6時) 3 長岡京アメダス 4 衛星画像 (16日5時) 5 桂川の水位 (羽束師水位観測所)

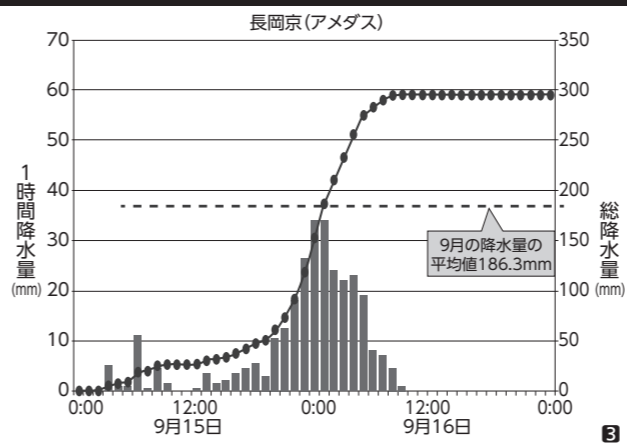


4 衛星画像 (16日5時)

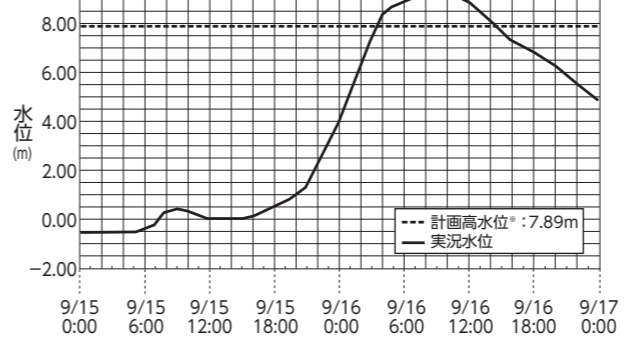


台風第18号は、当初の予想よりも西寄りに進路を変え、16日の午前8時前に愛知県豊橋市付近に上陸した。近畿地方では15日から16日昼ごろまでの雨量が平野部の多い所で300mm、山沿いの多い所では500mmを超える大雨となった。

※計画高水位とは川の堤防工事などの基準となる水位で洪水時に想定される水位。これに越水を防ぐための余裕高などを見越した高さまで堤防が作られる。



3 長岡京アメダス



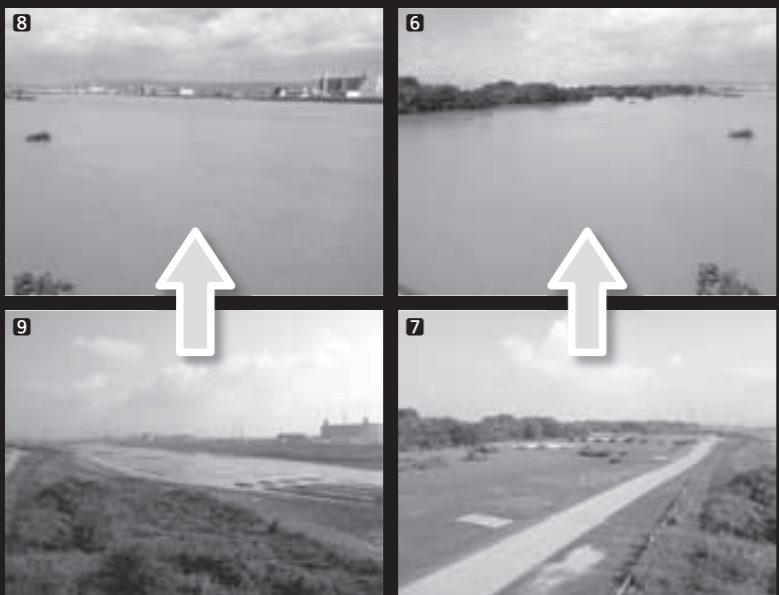
5 桂川 羽束師観測所



想定条件・注意事項  
 ①想定は、9月の降水量の平均値186.3mmを前提とし、内水による浸水などは考慮していません。  
 ②この地図は、浸水が予測される範囲と、浸水したと仮定した場合を示しています。  
 ③この地図に示した浸水以外の浸水が深まりました。実際の浸水が異なる場合があります。  
 ④浸水は、すべて想定する浸水範囲は、被害状況などにより変更される場合があります。  
 ⑤この地図は、事前に確認した浸水範囲を示しています。自主避難を、浸水範囲外で行う場合があります。

浸水イメージ 役場から南を望んだところ

6 9月16日午後2時頃の桂川右岸 (国道478号線から北を望む)。河川敷は完全に水没している。7 平時の同箇所。8 9月16日午後2時頃の桂川左岸。9 平時の同箇所。



# 町内累積雨量288mmを記録

今回の台風第18号では、近畿地方のほぼ全域に及ぶ範囲に、大雨が降りました。大山崎町では9月15日から16日昼前までの雨量が288mmに達しましたが、これは、平年の9月1カ月分の降水量の約1.5倍に相当する雨量です。

## 全国初の特別警報発表

この大雨により、桂川の羽束師水位観測所では昭和28年9月の台風第13号で記録した水位を上回る観測史上最高水位を記録。嵐山や羽束師付近では堤防高を超えて水が溢れ、付近の住宅、店舗等に被害をもたらしました。

## 避難勧告発令

町災害対策本部では、16日午前2時40分、国土交通省及び気象庁による桂川洪水予報「危険度レベル4」(5段階のうち4段階目)で、洪水発生の一歩手前、大変危険な状況にあることを示します。が発表されたため、避難勧告発令を決定。避難所開設の準備が整った午前3時50分に、桂川氾濫により浸水の危険のあるJR線路より東側の約3,200世帯7,800人を対象に避難勧告を発令し、町防災防犯情報メールや町広報車などにより、住民の皆さんに避難を呼びかけました。

## 約2000人が避難

避難指示を発令した午前5時30分以降から、避難所には続々と対象地域の皆さんが避難し、ピークの午前8時頃には、大山崎小学校、第二大山崎小学校、大山崎中学校、ふるさとセンター

## 鳴り続く電話、支援を求める声

の4箇所の避難者の合計が約2千人に達しました。避難が落ち着いた段階で、避難者からの自発的な協力も得ながら、食糧などを配布しました。

避難勧告発令とともに町災害対策本部には次々と問合せ等の電話が入り、要援護者からの避難支援を求める声も続々と届きました。一方で、近所の方や民生委員、介護福祉施設のサポートで避難所に向かった要援護者も多くありました。

## 浮かび上がった課題

今回の台風対応で、町として大きく次の課題が浮かび彫りとなりました。町では今後、関係機関と協議し、対策を考えていきます。

### ○町対策本部の人手不足

約2千人の避難者の対応のために避難所やその駐車場に大半の職員を配備しましたが、河川等のパトロール、物資調達などに当たるための職員が不足しました。職員数に限りがあるため、特に避難所運営などは、住民の皆さんに協力を求める必要があります。

# 避難者の協力受けて物資配布

### ○避難指示発令中の平常業務

避難指示発令中は、ごみ収集などの町の平常業務は中止するの否か、また民間事業活動へはどのような呼び掛けをするのか等に関して、具体的な取り決めに定めることとします。

### ○避難スペースが不足

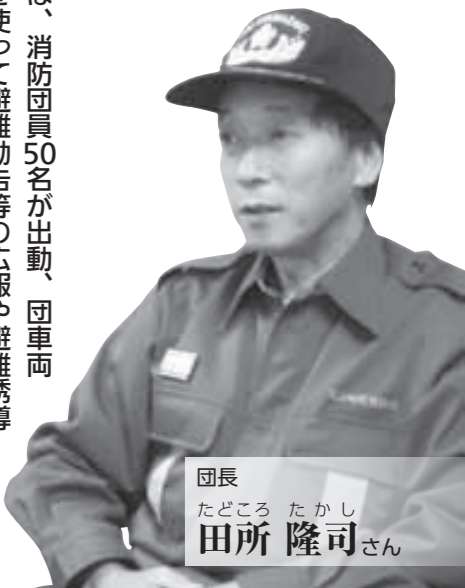
浸水の危険を考慮し、第二大山崎小学校以外は、建物・校舎の上階を避難所としましたが、一部の避難所では窮屈な状態となりました。大雨の場合には水害地域に加えて土砂災害危険地域への避難勧告も考えられますが、その場合には、さらにスペースが不足します。また、ペットの避難スペースの確保も課題となっています。

### ○要援護者の支援

町では、消防署に要請し、また職員が出向き、支援の求めのあった要援護者を避難所へ移送しましたが、人手に限りがあり、すぐに対応することが困難な状態でした。また、大山崎小学校では車いすの方を町職員らが抱えて上階へ運ぶといったこともありました。さらに小学校には洋式トイレが少ないため、高齢者がトイレに困ったという声もあります。要援護者の支援には多くの方々の協力が必要ですし、さらに要援護者に配慮した避難所のあり方の検討も必要です。



大山崎町消防団



団長 たどころ たかし 田所 隆司さん

当日は、消防団員50名が出動、団車両6台を使って避難勧告等の広報や避難誘導などに当たられました。

春と秋の火災予防週間に消防車で広報をしていますので、今回もスムーズに広報に回ることができました。災害は、予防が大切であるという考えのもと、団員は普段、火災予防の知識や心肺蘇生法を学んでいます。さらに近年は、ゲリラ豪雨や大規模災害に備えた学習を進めているところです。今回の台風では消防車巡回中に、窓越しに高齢女性に呼び止められ、団員4人で浸水の危険のない2階へ運び上げるといったさの行動をとることができました。

災害は、予防が大切

団員の皆さんは、仕事をしながら活動されています。頼もしい存在ですが、苦勞も多いのではないのでしょうか。年齢や仕事の業種とも多様な団員間での交流を深めながら、一方で縦の関係も重んじながら、地域のため、そして自分たちのために、若い団員も熱心に取り組んでいます。うれしいことに、今回の台風の後、新たな入団者もありました。

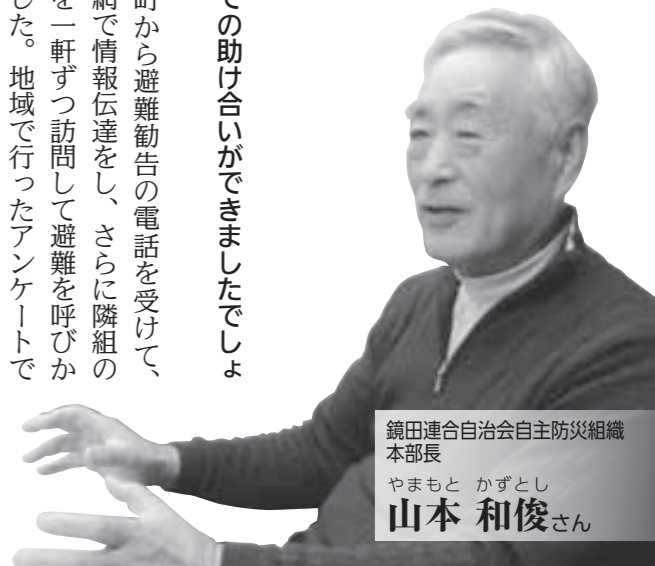
ただ、災害時には団員は出動することになりますので、家族の方の協力は欠かせません。

住民の皆さんには、まず自分たちで家族の身を守る行動を取れるよう、そして近所の皆さんの助け合いができるように備えていただければと考えています。



大山崎産業まつりで啓発活動に取り組む団員

自主防災組織



鏡田連合自治会自主防災組織本部長 やまもと かずとし 山本 和俊さん

地域での助け合いができました。うか。

町から避難勧告の電話を受けて、連絡網で情報伝達をし、さらに隣組のお宅を一軒ずつ訪問して避難を呼びかけました。地域で行ったアンケートでは、おおよそ5割の方が避難行動をとられたことが分かりました。課題も多く浮かび上がりましたが、高齢者とともに避難したり、近隣の3階建ての知人宅に避難したりといった、近所での助け合いがありました。

日頃の自主防災活動の成果が表れたと言えるのではないのでしょうか。

自主防災組織を立ち上げて5年、防災意識の高まりを実感しています。ただ、100点にはまだまだだと思っています。防災の一番の基本は、自分の命は自分で守るということ。誰かをあてにしてはいけません。各自が備えをし、状況に応じて自発的な動きができるようになるために学習、意識づくりを進める必要があります。ただし、高齢者など災害弱者については、どうやって助けるかを地域で考えねばなりません。今後こういった活動に取り組めますか。

世代間交流を活発にし、近所づきあいをもっと大切になりたい。支え合い助け合って安心して住めるような町づくりには、コミュニケーションを高めるしかありません。それが防災にもつながると確信しています。

世代間交流が防災につながる



田中 私は自主防災組織の役員もしています。川の様子を見に行つ

参加者 井ノ本アサ子さん 田中俊裕さん 壺内重博さん 平井敬昭さん 松田信子さん

た後、自治会の役員の方が一軒ずつ訪ねて避難を呼びかけました。自身では避難指示とはどういう状況かを理解して説明できればよかったと反省しています。町内の車いすの方の避難が気になっていたのですが、近所の方の車で避難されていました。

平井 私も自主防災組織の役員を兼ねていますので、団地の中の一軒ずつを訪問し、皆さんを起こして回り、避難を呼びかけていま



た。途中、「自分は民生委員だ」ということを思い出し、受け持ち地区の相談記録のある4件の方に避難を呼び掛けて回りました。

民生委員は、一人当たり200〜300件担当を持っています。民生委員と一口に言っても、体力のある人ない人それぞれであり、皆が一律な行動をとれるわけでは



ありません。また、災害が起こつてからの救助活動などは我々には難しい。平時に要援護者の把握をし、見守るといのがスタンダードな行動基準だと思っています。松田 それから、避難所での声かけ。避難所では、受け持ち地区の要援護者の方が避難されている

か、顔を探しましたが「近所の方の車に乗せてもらって避難した」という方が多くおられ、安心しました。

田中 私は、自主防災組織で作っている名簿により、避難所で要援護者の避難を確認することができました。

井ノ本 私の担当地区は避難の対象外だったので、普段からの見守り活動が災害への備えにつなが

ると感じています。田中 大山崎小学校では、車いすの方を若い人たちが担いで上階へ運ぶなど避難者同士の協力があり



が多いですね。町には訓練等を通じて、対策を考えてもらいたいと思います。

平井 個人的には、準備が何もできていなかったことが分かりました。家族は「とっさに何を持って避難すればよいのかもわからなかった」と言っています。やはり、

まず自身や身近な家族を守ることから始めることが大切だと思います。

自主防災組織が力を発揮。全町内会で結成を

当日は、避難対象地域の方は混乱なくとっさに行動できたでしょうか。

町では、ご近所で相談しながら行動していただきたくと考えています。そのためにも、近所で災害時に助け合う組織「自主防災組織」の結成を呼び掛けています。

自主防災組織では、学習会で土砂災害や浸水の危険場所・地震対策・避難の際に気をつけること・情報収集方法・要援護者の支援などについて、意見を交わしながら学んでいます。また、避難訓練や初期消火訓練などに取り組んでいます。

自主防災組織は、基本的には町内会・自治会を単位として結成することになります。

結成にあたっては、町総務課危機管理係までお気軽にご相談ください。

次回も必ず避難を

今回は幸いにして、ぎりぎりのところで雨が止んだため、大山崎町に影響のある箇所が桂川の氾濫はありませんでしたが、悲惨な事態とはまさに紙一重でした。今後、もし同じように避難勧告、避難指示を発令するような状況になれば、必ず避難をお願いします。

雨が上がっても危険

最大約2千人を数えた避難者は、午前8時頃に雨がやむとともに、徐々に自宅へ戻る方が増えました。ただ、桂川の水位は依然危険な状態にあり、避難指示は継続中でした。

大山崎町は大河川三川の合流部付近にあり、河川上流のダム

の放流による影響を大きく受けます。今回は桂川上流の日吉ダムの水位が限界まで達しており、雨が止んだ後も日吉ダムが正午から緊急放流を始めるなど、依然洪水のおそれのある危険な状況が続いていました。

町として帰宅者の十分な「引き留め」をできなかったという反省がありますが、皆さんにおかれましては、避難指示発令中は危険な状況であるという認識をお持ちください。



日吉ダムへの最大流入量は、平成10年の管理開始以来最大を記録。ダム下流の状況を考慮し、緊急放流操作を見送っていたが、午前11時25分にはダムの安全性に支障が出る水位となったため、正午に緊急放流操作を開始し、ダムへの流入量と放流量を同量に近づける操作を行った。

民生児童委員

普段からの見守り活動が災害への備えにつながる

た。途中、「自分は民生委員だ」ということを思い出し、受け持ち地区の相談記録のある4件の方に避難を呼び掛けて回りました。

民生委員は、一人当たり200〜300件担当を持っています。民生委員と一口に言っても、体力のある人ない人それぞれであり、皆が一律な行動をとれるわけでは

ると感じています。田中 大山崎小学校では、車いすの方を若い人たちが担いで上階へ運ぶなど避難者同士の協力があり



## 避難情報は3段階

町から発令する避難情報は、下記の3種類で、下へ行くほど深刻な状況となります。ただし、必ずしも①避難準備情報から順に発令するわけではなく、状況によっては、②避難勧告からの発令もあります。今回の台風18号では、桂川水位が急速に上昇したため、まず②避難勧告から発令し、その後特別警報の発表を受けて③避難指示に切り替えました。



種類	状況	求める行動
①避難準備情報	災害発生の危険性あり	避難の準備を始めてください。お年寄りなど避難に時間のかかる方は避難を始めてください。
②避難勧告	災害発生の危険性が高まっている	避難を始めてください
③避難指示	災害発生の危険性が非常に高まっている、災害が発生している	ただちに避難を完了させてください

## 飲み物、食べ物、毛布等は各自で持参

避難する際には、  
 ・貴重品  
 ・飲み物、食べ物、常備薬  
 ・毛布、使い捨てカイロなど防寒具  
 ・携帯型ラジオ、スリッパ、タオル、ゴミ袋  
 などを各自で持参しましょう。  
 これらは、「非常持ち出し袋」(両手が自由になるリュックがお勧めです)に入れて、簡単に持ち出せる場所に用意しておきましょう。



町でも備蓄がありますが、十分な量ではなく、お年寄りなどの要援護者に優先的に配布します。「各自で持参」を心がけてください。

### コカ・コーラウエスト(株)から飲料調達

災害時の応援協定により、16日朝に急ぎよ要請し、コカコーラ・ウエスト株式会社から飲料ペットボトル3000本の供給を受けました。

# 避難の心得



## 町の指定避難所

(△は水害時には校舎・建物の上階を開設、▲は水害時には開設しない)

大山崎小学校 (△)、第二大山崎小学校  
 大山崎中学校 (△)  
 大山崎ふるさとセンター (△)  
 大山崎町体育館 (▲)

## 避難は徒歩で

今回の台風で大山崎小学校では、車で避難した方の駐車場としてグラウンドを開放しましたが、満員状態で、緊急車両の出入りに支障をきたす状態でした。渋滞、事故の懸念もあります。台風時には大雨・強風時の避難になりますが、お年寄りや体の不自由な方、乳幼児を連れての方以外は、徒歩での避難をお願いします。傘で雨を防ぐことは難しい状況ですので、各自でレインコートの用意をお願いします。

## 「自分だけは大丈夫」?

人は、危機を前にしても「自分だけは大丈夫」と思ってしまう習性があります。たとえば火災が迫っているのに、あたかもテレビの前の出来事のように思い、危機が自分に及ぶと想像できない。そして逃げ遅れてしまうようなことが起こります。

普段から危険を正しく知って、自分が率先して避難するのだと意識しておくことが大切です。

## 高台の親戚宅も候補に

水害の場合は、高台の家であれば被害は免れます(ただし山麓では、場合によっては土砂災害の危険があります)。

町指定の避難所以外にも、高台の親戚宅への避難もご一考ください。実際今回も、親戚宅へ避難したという報告を多くいただいています。

## 近所でまとまって避難

避難は、いったんもよりの一時避難所に。それから、地域でまとまって避難所へ、という流れをお願いします。

一時避難所では、地域の皆さんの避難を確認、特に一人で避難が難しい「要援護者」の安否確認をした後、まとまって避難所へ移動してください。

町では一時避難所として町内18箇所の公園を指定していますが、その場所だけでなく、地域で集まりやすい場所を一時避難所と決めていただいてかまいません。避難所には地域ごとにまとまって入っていただくことで、その後の運営がスムーズになります。



一時避難所標識

## 危険な場所を避けて

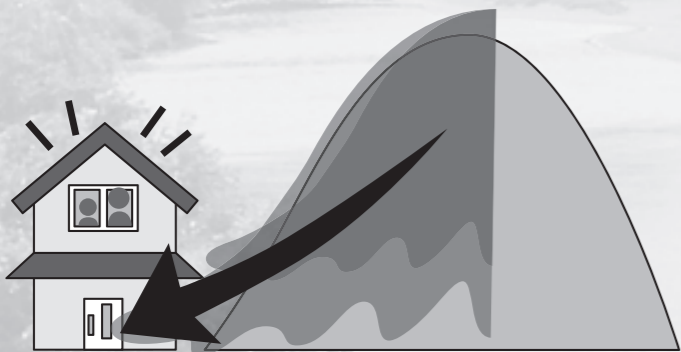
いったん一時避難所に集まって避難所へ向かう際には、大雨の場合は河川沿いや山裾は避けて移動してください。また、道路が冠水している場合には、マンホールの上のふたが外れていることがあります。さらに流れのある場所では、水深20センチ以上ある場合には、大人でも流されることもあります。冠水場所はどう回るようにしてください。



## 外に出るのが危険なら、垂直避難を

雷を伴った猛烈な雨が降っている場合や、すでに道路の浸水が始まっている場合は、特に夜間では外に出て避難所へ移動することがかえって危険なこともあります。その場合は、家の2階以上に避難をお願いします。土砂災害危険地域では、山の斜面から離れた2階の部屋に移動することで、リスクを軽減することができます。

早めに避難所への避難が原則ですが、それが難しい場合には、「垂直避難」を心がけてください。



# 避難勧告等は、 このような方法でお知らせします

## 町防災・防犯 情報メール

登録された携帯電話に、メールを届けます。未登録の方は、ぜひ今すぐ登録してください。

### 登録方法

①「bousai.yamazaki-town@raiden.ktaiwork.jp」(左にQRコードあり)に、件名、本文に何も書かずにメールを送信する



②すぐに返信されるメールの指示に従い、登録手続を行う

迷惑メール防止フィルターにより、②の返信メールが届かないことがあります。@raiden.ktaiwork.jpからのメールが届くよう、設定変更してください。詳しくは、携帯電話ショップにお尋ねください。

## エリアメール

### 緊急速報メール

9月16日の明け方に聞きなれな

い着信音のメールが届いた方は、このエリアメール（NTTドコモ）・緊急速報メール（au、ソフトバンク）が届いたものです。事前の登録作業なしに、対象エリアにある携帯電話が受信することができます。マナーモードでも、着信音が鳴ります。なお、機種によって対応していないものもあります。

※携帯電話会社の基地局の関係から、市町村を越境してメールが届きます。今回の台風では町発信のもの以外に京都市などが発信したものも届きました。

## 広報車周回

大音量スピーカーを町公用車3台に設置しています。

今回の台風では、町消防団の協力により、消防車でも避難を呼びかける広報を行いました。

## 地上デジタル放送

NHK総合放送（1チャンネル）で、リモコンの「d」ボタンを押すと、防災情報を見ることが出来ます。避難勧告等の発令状況のほか、注意報・警報の発表状況、雨

雲の状況を確認することが出来ます。

「ニュース・防災情報」→「河川防災情報」→「避難情報」からご覧ください。



## テレビ・ラジオ

NHK、KBSのテレビに、テロップを流します。また、ラジオでも情報をお知らせします。

## 町ホームページ

避難勧告等を発令した場合には、トップページ中央「新着情報」に記事を掲載します。町ホームページには、「大山崎町」で検索。または左記。  
<http://www.town.yamazaki.kyoto.jp/>

## サイレン

次の4箇所にサイレンを設置しています。

- ① 大山崎区民会館
- ② 役場
- ③ 第三浄水場（セブンイレブン向かい）
- ④ 下植野集会所

吹鳴の長さで意味を使い分けています。なお、このサイレンは消防団召集時にも吹鳴します。

<b>避難準備情報</b>	
<b>避難勧告</b>	
<b>避難指示</b>	

## 自主防災組織への 電話連絡

町から自主防災会長へ電話連絡します。各防災会の中で、連絡網の作成をお願いします。